







早産児（29～34週）で入院される赤ちゃんのご家族へ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	入院中		～退院まで	
	入院日	保育器 赤ちゃん用のベッド		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 酸素飽和度が85%以上である 感染徴候がない 皮膚トラブルがない 		<ul style="list-style-type: none"> バイタルサインが安定している 	
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 心拍や呼吸状態を調べるモニターがついています まだ上手に呼吸ができず、酸素が必要となるため、呼吸器を装着します 治療のために点滴をします 全身の状態によっては、輸血をする場合があります 生後3日間は光線療法を行います 胃チューブを挿入し、内服薬を投与します 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸が安定し医師の許可が出たら呼吸器を外したり、全身状態が落ち着いたら点滴を抜きます 貧血がある場合は輸血をします 内服薬は胃チューブから注入します 	<ul style="list-style-type: none"> 胃チューブを抜いたら内服薬は母乳またはミルクに溶いて飲ませます 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、培養検査、レントゲン撮影、超音波検査を行います 身長、体重を測ります 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日体重を測ります 1ヶ月毎に身長、体重、頭囲、胸囲を測ります 必要時、採血やレントゲン撮影、超音波検査を行います 未熟児網膜症の検査のため眼科の診察が定期的にあります 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日体重を測ります 1ヶ月毎に身長、体重、頭囲、胸囲を測ります 必要時、採血やレントゲン撮影、超音波検査を行います 修正在胎週数37週以上、体重2000g以上になったら聴力検査や頭部MRI検査を行います 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 閉鎖式保育器で過ごします 赤ちゃんは1日のほとんどの時間を眠って過ごします 赤ちゃんの受けるストレスを最小限にできるような環境を整え、愛護的なケアを行います 	<ul style="list-style-type: none"> 35週以上、体重1600g以上になると保育器から出ます 赤ちゃんの受けるストレスを最小限にできるような環境を整え、愛護的なケアを行います 	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん用ベッドで過ごします 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 絶食となります 	<ul style="list-style-type: none"> 母乳またはミルクを胃チューブから注入します 35週以上、体重1500g以上になり、呼吸状態や吸啜、嚥下の状態を医師が判断した上で、少しずつ経口哺乳が開始となります ミルクの量は消化の具合をみながら増やしていきます 	<ul style="list-style-type: none"> 1日7～8回、赤ちゃんの覚醒状態に合わせて母乳またはミルクを授乳します 医師の許可が出たら直接授乳ができます 	
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 体拭きを行います 	<ul style="list-style-type: none"> 沐浴を行います 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> おむつ交換を行います 浣腸を行い、排便を促します 		<ul style="list-style-type: none"> おむつ交換を行います 必要時お腹が張っていたら浣腸をします 	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院時にパンフレットを用いて入院生活に関する説明を行います 医師から赤ちゃんの状態の説明、治療や処置に関する説明があります 医師の説明を受けたい場合は、いつでも医師または看護師にお伝えください 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可がでたらタッチングができます。しっかり手洗い、消毒したあと、優しく包むように触れてあげてください 呼吸状態や全身状態が安定してきたら、看護師と一緒に体温測定やオムツ交換、体拭きを行っていただきます ご両親に対して、早産児の特徴をふまえた育児指導を行います。理解できるまでは何度でも指導を受けることができますので、看護師にご相談ください 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士による調乳指導があります ご両親に対して、早産児の特徴をふまえた育児指導、沐浴指導、授乳指導等をパンフレットを用いて説明します。理解できるまでは何度でも指導を受けることができますので、看護師にご相談ください 退院後の生活をイメージできるように必要時母児同室を行っていきます 	<ul style="list-style-type: none"> 医師より入院中の経過や今後の注意点、頭部MRI検査結果、次回外来受診について説明があります 内服薬がある場合には担当薬剤師が服薬指導を行います 不安なことや気になることがあればいつでも看護師にご相談ください 

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。